

# ワイズ経営ニュース

編集 発 行 人

ワイズコンサルティング  
株式会社

〒104-0061  
東京都中央区銀座1-8-21  
中央ビル5F

TEL 03 (3567) 3072  
FAX 03 (3567) 3075

菜の花

x D w k i q Ñ i

3<sub>D</sub>

( 弥 生 ) March

21日・春分の日

- 国 税 / 平成18年分所得税の確定申告  
2月16日～3月15日
- 国 税 / 個人の青色申告の承認申請 3月15日
- 国 税 / 贈与税の申告 2月1日～3月15日
- 国 税 / 2月分源泉所得税の納付 3月12日
- 国 税 / 個人事業者の18年分消費税の確定申告  
4月2日
- 国 税 / 1月決算法人の確定申告  
(法人税・消費税等) 4月2日
- 国 税 / 7月決算法人の中間申告 4月2日

日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	31

- 国 税 / 4月、7月、10月決算法人の消費税の  
中間申告 (年3回の場合) 4月2日
- 地方税 / 個人の都道府県民税、市町村民税、事業税  
(事業所税) の申告 3月15日

3<sub>D</sub>

v q b < p V " b 4 w C æ      社債の発行は、従来、株式会社以外はできませんでしたが、昨年5月施行の会社法により、既存の有限会社（特例有限会社）や合名、合資会社等でも発行できるようになりました。社債のうち少人数の縁故者や取引先等を対象とする少人数私募債は、通常の社債に比べ無担保で発行できることなどから注目されています。

# 資金別貸借対照表

## の経営分析

### 中小企業は過小資本

日本の中小企業のほとんどが過小資本といわれています。金融機関から運転資金の融資を受けても、融資を受けたお金はすぐに底をついてしまいます。

これは、運転資金が足りなかったのではなく、資本そのものが不足しているのです。中小企業の資本の調達は、大企業と違い、そもそも市場から調達できるほど信用がありませんから、社債の発行などはできにくく、残された選択肢は金融機関から長期の運転資金を借りるほかありません。

一方、融資をする金融機関も融資をする以上リスクを負いますので、なるべく早く、短期で資金を回収しようとしています。

金融機関に融資を申し込むと希望の融資期間（返済期間）がかな

わなかったことはありませんか？  
実際は、こうした理由により長期の運転資金を調達するのが非常に困難なことから、過小資本になっているのです。

ところで一般的に、経営者は、借りたばかりの運転資金が、いつのまにか、いつたどこに消えたのだろうかと悩まれることが多いと思います。

融資をした金融機関は、そこら辺は教えてくれません。決算書類を見てもわかりません。中小企業にとって、そもそも決算書は一義的には税務申告のためにあるからです。

また、会計上の利益と税務申告の所得とが、違うなどということ、利益そのものが、客観性を持たない中途半端な測定方法であるとも言えます。

全ての取引が現金預金の増減で分類される

では、会計の中で最も信頼のおける数字は何であると思いますか？中小企業の貸借対照表の中で最も正確であり、検証可能であり、真実をあらわしているのは現金預金です。この現金預金には、機能

的な目的、すなわち管理的目的等、企業家の経営目的にしたがって運用されています。

この資金が目的を持ち、その目的のために資産に転化し、経営目的にしたがい拘束されます。

経営範囲を規定するのが資金です。その資金の具体的な形が資産等の経営資源として定義されると考えますと、すべての取引はその目的に則った現金預金を通して、表すことができるのです。

簡単に言い換えますと、すべての取引は、「現金が増加する」と「現金が減少する」かのいずれかの取引に分類されると考えることができます。

貸借対照表

	負債
資産	資本



資金別貸借対照表

損益資金		
固定資金		
売上仕入資金		
安定資金		
流動資金		
現金・預金		

資金は何らかの経営目的をもって調達、運用されますので、この考え方によって決算書を分類し組替えてみるができます。

### 四つの分類法

次のページの「資金別貸借対照表」をご覧ください。

会社設立から現在まで、どのような資金バランスでその会社が経営されているかを示すものです。貸借対照表の「資産の部」を表の左側の「資金運用」に、「負債及び資本の部」を右側の「資金調達」に組み入れ、①損益資金、②固定資金、③売上仕入資金、⑤流動資金の四つの資金群に分けて配置し

ています。四つの資金群は資金調達、資金運用目的を四つに分類しているのです。

では、「資金別貸借対照表」の一番上から見ていきましょう。

① **損益資金**は、設立当初から期までに蓄積してきた利益の累積額を表しています。繰越損益等は、前期繰越損益に「利益剰余金等」を加算し、未払法人税と諸引当金を加算します。

次に売上高を資金調達の欄にもつてきて、売上原価及び経費等を資金運用の方に記載します。

② **固定資金**では、設備投資等の有形固定資産、繰延資産、棚卸資産が資金運用に記入されます。棚卸資産は、継続的にあると想定されますので固定資金に記入します。資金調達の欄には、長期借入金、資本金、資本剰余金等が記入されます。

資金調達から資金運用を差し引き固定資金が計算されます。

③ **売上仕入資金**は、仕入の支払サイトと売上の回収のサイトによる資金関係を表しています。

「安定資金」は損益資金と固定資金、売上仕入資金の合計で、資金の安定度を示します。ここがマ

資金別貸借対照表

現金預金	資金運用		資金調達	
[ 1 ] 損益資金				
			繰越損益等	7,500
	売上原価	45,000	売上高	90,000
	経費	60,000	営業外収益	30,000
	営業外費用	1,500		
	法人税等	4,500	(当期利益)	(9,000)
16,500	計	111,000	計	127,500
[ 2 ] 固定資金				
	棚卸資産	15,000	固定負債	45,000
	有形固定資産	30,000	長期借入金	15,000
	その他固定資産	22,500	(固定負債計)	60,000
	繰延資産	22,500	資本金	15,000
			資本剰余金	
			(資本金等計)	15,000
-15,000	計	90,000	計	75,000
[ 3 ] 売上仕入資金				
	受取手形	1,500	支払手形	3,000
	売掛金	3,750	買掛金	5,550
	前受金	▲ 750	前払金	▲ 1,050
3,000	計	4,500	計	7,500
4,500	[ 4 ] 安定資金	[ 1 ]+[ 2 ]+[ 3 ]		
[ 5 ] 流動資金				
	短期貸付金	1,500	短期借入金	4,050
	その他流動資産	3,000	手形割引	450
			(短期調達資金)	4,500
			その他流動負債	150
			(その他の短期調達資金)	150
150	計	4,500	計	4,650
4,650	現金預金			

創業時からの  
儲けです

マイナスのとき[1]  
損益資金から使用し  
ています。損益資金が  
マイナスならば他から  
調達していることにな  
ります。

ここがマイナスですと  
短期借入が必要です

貸借対照表の  
現金預金と一致します

イナスの企業は資金繰りに短期の  
運転資金を使っていることになり  
ますので確認して下さい。  
⑤ **流動資金**は短期借入

金、手形割引等の短期資金です。  
資金運用は、貸付金等の流動資産  
です。  
損益資金、固定資金、売上仕入

資金の合計が安定資金でこれに流  
動資金を加えたものが現金預金と  
なります。

## 防犯性能と不動産の価値

空き巣や粗暴犯などの被害が急増し、住宅の防犯性能の向上が叫ばれています。大手のハウスメーカーなどでは防犯性能をうたう商品も珍しくなくなってきました。

国土交通省が、2003年にまとめた住宅性能表示に関するアンケートでは、重視したい項目（複数回答）として、日当たり（72.7%）とほぼ並んで防犯性能が71.7%にあがりました。これを受け、警察庁、国土交通省、経済産業省の3省庁は、住宅の性能保持を保證する品格法に防犯の項目を入れました。

侵入者が5分以上攻撃をしかけても耐えられる性能を持つなど一定の基準をクリアしたガラスや鍵など建物部品を「防犯性能の高い建物部品目録」として公表。この目録の部品を使用した住宅を防犯性能表示できるようにしています。つまり国の目録に載った部品を使えば、防犯性能が高い住宅とのお墨付きがもらえるわけです。こうした動きは大都市部

を持つ地方自治体でも広がっています。

ある自治体では防犯性能の高いマンションに対して「優良防犯マンション・駐車場認定制度」をスタートさせています。対象は3階建て以上の新築物件で、共同の入り口が道路から見通せているか、共同玄関がオートロックになっているか、共同玄関の明るさなど、その項目は70以上にも及んでいます。この動きを金融機関も後押しし、防犯対策を施した新築住宅やマンションに対し、住宅金融公庫は融資枠を広げ、民間金融機関ではローン金利を優遇するところも出てきています。

一方、こうした動向は従来の不動産評価を変えつつあります。たとえば角地、あるいは家の前に広い公園がある、そばにコンビニエンスストアやファミリーレストランがある土地は便利で良いとされてきましたが、防犯の視点からすると、犯罪者が下見のために身を隠しやすくなるため、評価が低くなるというのです。これからは防犯性能が不動産の価値の大きな要素となるかも知れません。

## CM飛ばしでテレビ番組は消えてゆく？

次世代規格でのぎを削っているHDDレコーダーは、テレビ番組を長時間にわたって録画することができる便利な機械。ある総合研究所は、2005年にHDDレコーダーが540億円もの損失を広告主に与えたとの報告を発表しました。

原因はCM部分のスキップ。つまり、番組の合間に流れるCMを飛ばしてしまうというわけです。調査によれば2005年のHDDレコーダーの国内普及率は約15.2%ですが、その平均のCMスキップ率は64.3%。録画した番組の半分もCMが見られていないということになります。

CMはテレビ番組の収入源ですから、そのCMが見られていない、効果がないとなれば、いずれテレビ番組そのものがなくなるかもしれません。インターネット広告が勢いを増している中、テレビCMの効果はかつてほどあるとはいいにくく、CMスキップの影響が今後じわじわ出てくるものと思われる。

## ワーキングプア

昨年七月末、NHKで放送された「NHKスペシャル ワーキングプア」働いても働いても豊かになれない」が大反響を呼び、一気に知名度を上げた「ワーキングプア」という新語。日本で急激に拡大しつつある「働く貧困層」のことで、「働いているのに生活保護水準以下の暮らししかできない」世帯のことを指しています。生活保護水準以下で暮らす家庭

は、日本の全世帯のおよそ十分の一とされ、四〇〇万世帯とも、それ以上とも言われています。このような世帯の増加が、深刻な社会問題になりつつあるのも事実です。ワーキングプアに陥りやすい最も典型的な人は、派遣や契約といった非正規雇用の人々。リストラや「氷河期」とも呼ばれた大学新卒の就職難などがその理由です。ワーキングプアが解決される日が一日も早く来ることを願いたいものです。